



天小らしい 150周年の一年間に

新しい一年間が始まりました。先週の金曜日に入学してきた1年生72名を迎えて、今年の天王寺小学校は、児童数446人でのスタートです。5年生と6年生は2学級ですが、1年生から4年生までは3学級になりました。(1年生は、公式の学級編成上は2学級ですが、1学級あたりの児童数を少なくしてきめ細やかな指導が行えるように、学校裁量で3学級展開にしました。)児童数が多くなっても、これまでの天王寺小学校がそうであったように、引き続き丁寧な教育を続けていきたいと思っています。

そして、天王寺小学校は、今年創立150周年を迎えます。11月2日(土)には、全校児童とともに、記念式典を挙行する予定です。さっそく春休み中に、正門横の校舎の壁と運動場のフェンスに、お祝いの垂れ幕や横断幕を掲げました。文言やデザインは、この春卒業した子どもたちが考えてくれたものです。この他にも、周年行事お約束の人文字を写す航空写真や、児童会を中心としたイベント、登下校で使っている地下道のリニューアルなど、子どもたちと一緒に天王寺小学校らしいお祝いの一年間にしたいと思っています。

ところで、こう書いていてふと思いました。「天王寺小学校らしい」って、どんなことでしょうか。私がこの2年間見てきた天王寺小学校の子どもと言えば、あいさつがよくできて、素直で優しい子が多いなという感じです。でも、それらは、自然にそういう子が集まつたのではなく、我々大人がそうなってほしいと願いながら育ててきたからそういう子が多くなったように思います。

学校には学校教育目標というものがあり、天王寺小学校のそれは「心豊かで助け合うたくましい子を育てる」というものです。この目標に向けて、これまで何年にもわたって、歴代の教職員が保護者の皆さんや地域の方々と天王寺小学校の教育を作り上げてきました。ですから、天王寺小学校らしいとは、この目標に向けて行われるすべての営みの結果だと言えます。それを踏まえて、私は、始業式で、子どもたちに「当たり前のことときちんと積み重ねてほしい。」と話しました。これまでの先輩たちが積み上げてきたことは、何も特別なものではありません。きちんとあいさつをしたり、授業に集中して取り組んだり、友だちを大切にしたりと、どれも当



たり前のことです。しかし、その当たり前にすべきことをきちんとやることが、これから天王寺小学校を作る土台となるのです。



「らしさ」と言えば、「男らしさ」や「女らしさ」がジェンダーバイアス（性別による偏見）につながるように、それにこだわることが必ずしも良いとは言えません。しかし、私たちが、天王寺小学校という未来を担う子どもたちを育てていく場では、やはり「天小らしさ」は大切にしていきたいと思います。そして、子どもたちも同じ気持ちで学校生活を過ごしていくことで、これから伝統を作っていくことができると信じています。そして、そんな素敵な学校になるように、これからも、一生懸命取り組んでいきたいと思います。どうか素敵な150周年の一年間になりますように。

よりよい学校をめざして今年もいろいろ変えてみます でも、変えないこともいろいろあります

4月の行事予定に、「住居確認」という見慣れない言葉が載っています。これは、学級担任が、子どもの住む住居を目視で確認して地域を回るというもので、保護者の在宅は必要ありません。去年までは、この時期に家庭訪問を実施していましたが、そのすぐ後に学習参観と学級懇談会があることから、家庭訪問はやめることにしました。昔と違って、共働きのご家庭もずいぶん増えたので、短期間の間に何度もお時間の調整をしていただくのは大変だと思ったからです。とは言え、子どもがどこに住んでいるのかを知らなければ、何かあったときにすぐ駆けつけることができませんから、居住場所の確認だけはしておこうというのが主な狙いです。

しかし、家庭訪問がなくなったということは、学校（担任）と保護者でお話しする回数が減ったことになります。もちろん、ご連絡やご相談は、いつでもお受けしますが、後退した感は否めません。そこで、これを機会に、学習参観の後の学級懇談会にご参加いただけませんでしょうか。

学級懇談会は、各学期に1回ずつ設定していますが、正直言って、大入り満員という教室をあまり見たことがありません。少なければそれはそれで、アットホームな雰囲気になるのですが、担任の考え方をお聞きいただいたり、保護者からのご意見を頂いたりする数少ない場の一つということを考えると、懇談会の参加者が少ない学校は、保護者があまり学校教育に関心のない学校に思えて、ちょっと残念な気もします。

なお、お子さんと一緒に帰りになられるための方に、当日は、特別に校庭開放をいきいき活動とは別に実施します。（残るのは、基本的に懇談会に参加する保護者の子どもだけです。）懇談中はお子さんを運動場（雨天時は講堂）で遊ばせておいて、終わり次第一緒に帰りいただけるようにしました。たくさんの保護者の皆様のご参加をお持ちしています。

今年もこれまで本校が積み上げてきたものを大切にしながら、時流に応じて柔軟に変化できる学校にしていきたいと思っています。しかし、それは、決して教育のサービス化をめざすものではありません。より良い教育を行うためには、子どもも教職員も保護者も、それぞれが力を出し合うことが大事です。ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。